

意見書案第4号

原発に依存しないエネルギー政策への転換について

別紙のとおり意見書案を提出する。

平成23年9月16日提出

提出者議員	伊	澤	幸	信
賛成者議員	篠	原	藤	雄
〃	堀		孝	行
〃	官	下		透
〃	安	田	昌	幸
〃	古	石	英	仁
〃	牧	田	滋	昌
〃	酒	井	和	子
〃	上	田	久	司

原発に依存しないエネルギー政策への転換を求める意見書

3月11日の「東日本大震災」は、東日本を中心とする広い範囲に壊滅的な被害をもたらした。

これに伴い発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故では、炉心溶融、海への汚染水の放出、広範囲にわたる放射性物質の拡散などが起こり、現時点で収束の目途が立っていない。

自然エネルギーは大きな可能性を持っている。太陽光、中小水力、地熱、風力などに恵まれ、技術的にも世界でも先進的なものがあり、日本の技術を使って日本よりはるかに進んだ自然エネルギーの取り組みを行っている国も少なくない。

今後は、原子力発電所中心のエネルギー政策からの移行を考え、自然エネルギーへの積極的な転換を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年9月 日

岩見沢市議会

提出先

内閣総理大臣
総務大臣
文部科学大臣
経済産業大臣